



理療専門部各科2年生が施術所見学に行ってきました

6月2日(月)、和歌山市手平でA型およびB型事業所としてあん摩はり・きゅうの治療院を経営し、多くの視覚障害者を雇用していただいている虹心の会(こうしんのかい)が運営するベストワークを見学させていただきました。治療院の主な設備を見学させていただくとともにベストワークの概要や理療師として働いていくために卒業までに身につけて欲しいことについてお話を伺いました。ベストワークでのあん摩の施術は9割以上がベッドではなく、床もみだそうです。多くの施術所や病院ではベッドでの施術が多いですが、実際はベッドより畳やカーペットに布団を敷き寝てもらった状態で揉む方がリラクセスできるので、それを希望する患者さんが多いということでした。また給与とは別に、一食、360円で昼食を提供しているというお話をうかがい、食堂も見学させていただきました。見学の後のお話では、あん摩師として働いていこうとするときに必要なこととして体重をしっかりと乗せることのできる指づくりを含む施術技術、様々な年齢や境遇の患者さんと円滑に関係性を構築することができるコミュニケーション能力、施術の適否の判断や医療過誤を起こさないように適切な対策をすることができリスク管理の能力等が重要である等、貴重なアドバイスをいただきました。

「先輩」が教育実習に来てくれました!

令和3年度高等部本科を卒業した先輩が、教育実習のため、2週間、盲学校に来てくれました。久々に会う人もいましたが、「すっかり大人になったねえ」と驚くほど、落ち着いた雰囲気、実習に取り組んでくれました。

6月5日(木)には、教育実習最大の山場となる研究授業がありました。今回は高等部2・3年生を対象に自立活動の授業を実施しました。大学生活の中で取り組んでいるボランティア活動を題材に、そういった活動に参加する際に、自分の見え方をどんなふうにまわりの人に伝え、理解を得たり、援助を求めたりするかという内容でした。落ち着いた口調で自分の経験を後輩たちに語りかけたり、実際の場面を再現して見せたりする中で、高等部生もしっかりとロールプレイに取り組んだり、気づきをまとめたりすることができていて、とても素敵な授業を展開してくれました。当日は大学の先生も参観にきてくださり、「とても感動する授業だった」とコメントをしてくれていました。

教育実習は6日で終わりましたが、また時々、後輩たちに会いに来てくださいね!お疲れ様でした。



こども役の指導教官を相手にロールプレイの見本を展開中です

近畿盲学校 PTA 連絡協議会総会・研修会

6月6日(金)に、近畿盲学校 PTA 連絡協議会の総会と研修会がオンラインで開催されました。令和6年度は和歌山盲学校が主管校だったため、総会の挨拶や司会は本校の新旧育友会が担当してくれました。

午後からの研修会では、福井県立盲学校で実施した視覚障害者のための交通安全教室の内容についてお話をうかがいました。電気自動車の音を実際に聞き比べたり、視覚障害のある人にとって、町中を歩くことは不安を伴うことや、音のなる信号機の有用性などについて学び合いました。研修会の後、本校の視覚障害当事者の先生からも日頃、気をつけていることなどを教えていただき、参加された保護者の方は熱心に話を聞いていました。今回の研修を通じて、他校で実施していた保護者向けの歩行体験に本校育友会でも取り組んでいこうと話合いました。



梶本先生から、日頃の様子をうかがい、みなさん熱心に話を聞いていました